

むらやま 議会だより



写真／大倉地域子供育成会クリスマス会にて

もくじ

- ◎新春対談 P 2～3
- ◎12月定例会 P 4～5
- ◎代表質問..... P 6
- ◎一般質問..... P 7～9
- ◎議会活動レポート..... P10～11
- ◎市民の声..... P12



←携帯からはコチラ

2022



新春対談

～対談者の紹介～

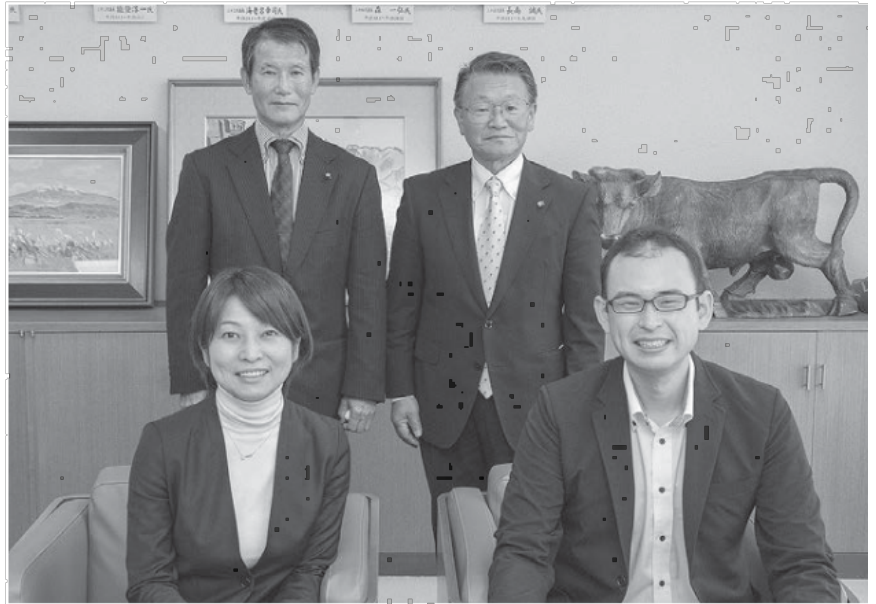
村山市地域おこし協力隊

小関 恵子 隊員 (東根市出身)

佐藤 洋介 隊員 (岩手県出身)

(秋葉議長) 本日はあ
りがとうございます。
最初にお二人の自己紹
介をお願いします。

あけましておめでと
うございます。
議長公室において、
昨年着任された地域お
こし協力隊のお二人と
正副議長による新春対
談を行いました。



前列左：小関隊員 右：佐藤隊員 後列左：石澤副議長 右：秋葉議長

(佐藤) 岩手県出身で、
以前は農林水産省に勤
めていました。村山市
役所の課長として3年
間出向し、一度農水省
に戻ったのですが、昨
年7月に協力隊として
帰ってきました。まだ
半年くらいですけど、
も前から住んでいた場
所のように活動させ
ていただいています。

Link MURAYAMA (以下リンク) を、市民の皆さんがより使いやすい施設になるように考えています。
(小関) 私は東根市出身で、進学のため横浜に行き、その後社交ダンスを教えたり、図書館司書をしていました。私の母校が新たな施設に変わることができ、そこに携わることができるといい機会だと思います。村山市の地域おこし協力隊として戻ってきました。
(石澤副議長) 地域おこし協力隊としての村山市への思いをお聞かせください。
(佐藤) 以前は課長として、人口減少対策や移住促進の仕事をしています。仕事も生活も「村山のほうがいいな」という率直な感想を持ち、戻ってきました。新しいチャレンジをしたくて来ましたが、それができる場所を作りたいと考えています。
(小関) 高校生の時に村山市に通っていて、



笑顔をふやしたい小関隊員

当時は、学生もたくさんいましたし、商店街もにぎやかでした。現在は少し寂しいですが、商店街やリンク付近の辺りに活気がでて笑顔が戻ってくるようにできたらと思っています。
(石澤) とところで、お二人の趣味や特技は。
(佐藤) 自転車に乗ることです。自転車に乗りながら見つけた、市内の風景のいい場所をまとめたと思います。農業にもかかわりたいと思っています。バラで産業を興し、産地にするという事をやりたいですね。
(小関) 私は、社交ダンスを教えたことがあります。人生一〇〇年代になり、これからどう過ごしていくかが、非常に大切だと思います。だから人が毎日集まれる所、そういう場所づくりのお手伝いが出て来れば、いいと考えています。そこにダンスが役立てればいいなと思います。さらには、祖父母さんが子どもたちの面倒を見てあげられる場所になりたいです。
(秋葉) とても大事なことでと思います。高齢者の居場所づくりにもなりますね。
(石澤) いよいよリンクがオープンしますが、今後の見通しや構想などを聞かせください。
(佐藤) 先程、小関さ



第27代 秋葉新一議長

んがおっしゃったように、いろんな人が集まり、使える場所にしたと考えています。そして新しいことにチャレンジできる場所にしたいと思います。リンクに行けば誰かが話を聞いてくれたり、アイデアをもらえたり、そんな新しい出会いの場所をリンクの一階中央に作ります。

自分にとって一番良い運動方法が分かる機械が置いてあるジムがあり、また、ヨガや体操ができるスタジオもあって、楽しく体を動かせます。

(秋葉) 村山市には足りない若者が集う場所になることを期待します。

(石澤) お二人が歩んできたことで、村山市に生かせるようなことをお聞かせください。

(佐藤) 地域おこしは、

行政だけでは出来ない。かといって民間に全部放り投げる。これも違う。一緒になって作っていくことが絶対に必要です。

(小関) リンクのパンフレットを今まで3回作りました。地域の市民センターや販葉プラザに置いてありますのでご覧ください。私の実家は東根でサクランボ農家をやっています。シーズンワーカーに興味がある方が首都圏には大勢います。手伝いに来て、地元の美味しい食べ物を食べ、温泉に浸かり泊っていく、宿泊代とバイト代でも充分満足して帰っ

ていく、そういう人達を村山にも連れてこれたらいいと思います。

(石澤) 村山市議会に対する要望、意見、感想などをお聞かせ願います。

(佐藤) 課長として、議員の活動を間近で見せていましたが、いつも忙しそうにしています。議員の普段の活動もっと市民に伝わるとよいと思います。

(小関) 私は、議会中継を見ているのですが、いろんな市町村の事例を素早く参考にして取り組まれていて、すごいなと思っています。心強いです。

(秋葉) 他所から私たちの村山市に来ていた



熱く語る佐藤隊員

だき有難く思っています。村山市に望むことなど何でしょうか。

(佐藤) 移住してきた私の前で「村山市に魅力はない」と言う人がいます。口に出していいとどんどん悪くなる一方です。前向きに捉えていく必要があります。

(小関) 地域おこし協力隊の制度を、村山市はいち早く取り入れ、活躍の場を与えてくれたことに感謝します。

(秋葉) 前向きな意見をいただき有難うございました。市議会としてもお二人の意見を生かせるよう頑張ります。



4億855万円を追加し 総額164億8,492万円

令和3年度第6回定例会は、11月29日から12月15日までの会期で開催され、条例8件、補正予算3件、その他8件を原案のとおり可決しました。

補正予算のポイント

定住促進対策費

1570万円

申し込みの増により不足が見込まれる・住宅リフォーム支援事業補助金・子育て応援定住促進事業補助金・小型除雪機購入費補助金の追加。

老人福祉費

376万円

高齢者等の除雪扶助費について、冬期間の居住要件緩和に伴い、利用者が増加する見込みのため追加する。

児童福祉総務費

930万円

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、安心して子育てができる環境を整えるため、ひとり親家庭子育て応援給付金の支給要件を拡大する。中学生までとしていた対象を高校生までとするほか、受給世帯を準要保護世帯に拡大する。

母子保健事業

546万円

県が出産支援給付金給付事業を実施することに伴い、令和3年4月以降に出生した新生児がいる世帯に支給する。

給付額は1人あたり現行の健康保険法などに基づく、出産育児一時金と、山形県の平均出産費用推計額との差額の2分の1にあたる5万8000円。

予防費

9189万円

新型コロナウイルスワクチンについて、3回目の追加接種が出来るよう、体制を整えるための経費で、2回目接種からおおむね8か月経過した方から行う予定で令和4年度にまたがって実施。

道路新設改良事業

3800万円

駅西開発エリアにおける民間開発を促進するため、駅西中央5号線および楯岡長瀬線整備などに係る用地取得費を追加。

消防施設費

5518万円

危険物火災に対応する化学消防車を更新。現在の化学消防車は、購入から23年経過し、老朽化していることや東北中央道開通に併せて、高速道路のトンネル火災などにも対応できるようにする。



市民体育館での集団接種の状況

予算特別 委員会の質疑

在宅福祉事業（除雪扶助費）の令和2年度の対案件数は356件です。
 今年度から対象者を拡大し、冬季間不在であつても期間経過後に居住を再開する予定の世帯まで支給対象としました。
 道路新設改良事業において駅西中央5号線は車道8m歩道含め11・5mです。楯岡長瀬線は延長が960mで車道8.5m歩道含め12mです。大槇バイパス線は延長870m車道8m歩道含め11・5mです。ココスからの西側交差点は事故が多く、解消するためにもラウンドアバウトで施工する予定です。
 農道除雪での補助対象は3名以上で上限額が15万円令和2年度の実績は19団体で21路線でした。市での農道除雪については生活道路優先だけでいいであり、農家の方へお願いしている状況です。

条例等

村山市市営バスの運行に関する条例の一部を改正する条例

市営バスの路線などの見直しを図るものです。

山の内～北村山公立病院線

停留所を新たに3か所を追加する。「中山大谷地」「小滝」「中条」（往路4便のうち1便、復路3便のうち2便で運行。）

富並～河北病院線

停留所「清龍寺」を廃止し、往路1便目起点を停留所「深沢」に変更。

深沢～宮下～村山駅（西口）線

従来の白鳥宮下～村山駅（西口）線の起点を「深沢」にし、路線名を変更。停留所を「驚滝」「クアハウス基点」を追加する。（往路2便のうち1便、復路2便のうち1便で運行。）



4月1日より路線などの見直しとなる市営バス

経路は「反田」「沖・政善寺前」間は、4月から10月までは市道反田線と大槇白鳥線を運行し、11月から翌年3月までは現在の経路で運行。

村山駅～大槇～富並線 廃止

付帯決議を可決

最終日に議会より発議第7号を提出し、全議員賛成により可決しました。

この発議は、子育て世帯への臨時特別給付金として現金5万円とクーポン5万円を支給するための一般会計補正予算（第8号）に対する付帯決議で、現金で一括給付を実施するよう要望したものです。

この付帯決議を受け、市では議会閉会後の12月17日に専決処分が行われ、子育て世帯に対する現金10万円の一括給付が12月から開始されました。

議決結果一覧

件名	議決結果
村山市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例について	（全会一致で可決）
村山市特別職に属する者の給与等に関する条例の一部を改正する条例について	（賛成多数で可決）
村山市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	（賛成多数で可決）
村山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例について	（全会一致で可決）
村山市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	（全会一致で可決）
村山市市営バスの運行に関する条例の一部を改正する条例について	（全会一致で可決）
村山市消防団条例の一部を改正する条例について	（全会一致で可決）
令和3年度村山市一般会計補正予算（第7号）	（全会一致で可決）
令和3年度村山市水道事業会計補正予算（第1号）	（全会一致で可決）
村山市基点レクリエーションセンターの指定管理者の指定の一部変更について	（全会一致で可決）
村山市基点レクリエーションセンターの指定管理者の指定について	（全会一致で可決）
村山市故里交流施設の指定管理者の指定の一部変更について	（全会一致で可決）
村山市故里交流施設の指定管理者の指定について	（全会一致で可決）
村山市市営バス路線の指定について	（全会一致で可決）
字の区域及び名称の変更について	（全会一致で可決）
市道路線の認定について	（全会一致で可決）
功労表彰について	（全会一致で可決）
工事請負契約の一部変更について	（全会一致で可決）
令和3年度村山市一般会計補正予算（第8号）	（全会一致で可決）

ピックアップ!

ピックアップ!

代表質問

市政・公明クラブ代表 高橋 菜穂子 議員



Q 市長が掲げる「次の時代に引き継ぐ魅力ある村山市」を実現するためには、限りある財源を有効かつ重点的に活用する新年度予算編成方針が示されているが、詳細について伺う。

A 重点政策としては、「村山駅東西エリアの開発」「子育てスマイルプロジェクト」「安心な暮らしと産業振興」の3点とし、予算配分を行う考えだ。

Q 選択と集中は、必要なことであるが、重点政策の陰には、事業の廃止や停止もしなければならぬ。どのように取り組んでいるか。

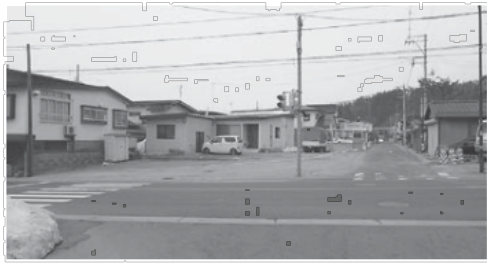
A 毎年見直しをしているが、実際は廃止することは難しい。

Q ウィズコロナ、ポストコロナへの対応を伺う。

A 新たな日常の実現にむけた経済回復や事業者支援、新しい生活様式を取り入れたイベント開催、WEB

会議の活用、デジタル化による市民の負担軽減に取り組む。

Q 都市計画は昭和43年の都市計画法の制定とともに、都市計画区域に旧楯岡町の指定が土台となり、平成20年には都市計画マスタープランが制定されている。都市計画道路などの整備の進捗状況はどうか。本市の人口減少においては、都市計画区域（主に楯岡）の整備の遅れが指摘されることが多いが、市長の認識は。



拡幅予定の市道・本郷通り線

A 楯岡内の都市計画道路について、7路線のうち62・7%の

進捗状況である。都市計画道路を推進していくことは、人口減少対策としてもぜひ必要。次世代へ引き継ぐためにぜひ必要なこととして取り組んでいきたい。

Q 人口規模が3万人を切り、将来的には2万人を下回る。このままの行政規模を維持することは困難であり、行政組織と公共施設の両面から最適化を図ることを求める。

行政組織の※1DX（デジタルトランスフォーメーション）には、人材育成が課題であると考え。

A デジタル化は世界の潮流。DXを推進するための外部人材の登用を短期間で契約する方向も模索しつつ、職員を養成していく。

Q 公共施設の統合や廃止、※2ダウンサイジングを進めるべきだと考えるが、作るよりも難しい。どのように進めるか。

A 避けては通れない問題であり、でき

るだけ早急にロードマップを作成し、進めていきたい。利用率の低い施設について検討を進めている。

Q 小・中学校の適正配置について、統合の進め方は。

A 質の高い村山らしい教育を実現するために、理想の学校像を議論し、市民に提示し、その後、統合を進めていきたい。

Q 教育予算をしっかりと確保することを求めるが、市長の考えは。

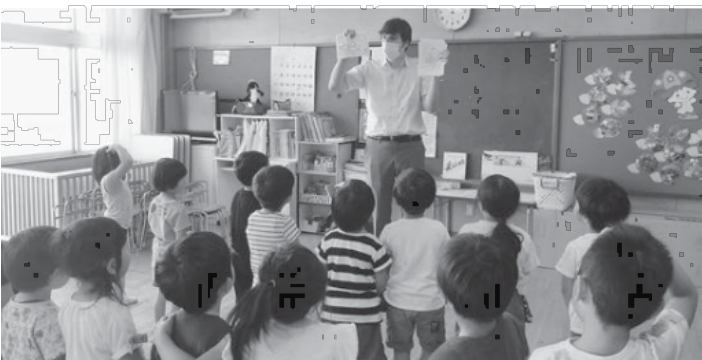
A しっかりと予算をとって、応えていきたい。

Q 高齢化率が39%であるが、高齢者福祉の方針は。また、高齢者のみ世帯の増加が著しく全世帯の21・2%であり、今後とも増加していく。対策はどのよ

うに考えているか。

A 高齢化率を減少させるために、生産年齢世代の人口を増やすよう取り組んでいく。地域で支えあえることが重要であると考え、支えあえる地域共生社会の実現に取り組んでいく。特に介護予防に力を入れていく。

若い世代が同居できるように、または近くに暮らせるような政策を考えていく。



グローバルな視点・思考を幼少期から育むための幼児向け国際交流

※1 DX：ITが世の中をよりよい方向へ導くという考え方
 ※2 ダウンサイジング：規模を縮小すること



細矢 清隆

保育・教育・介護施設の 防犯対策を

答弁 心配である

今後取り組むべき課題

動画はこちら



Q これまで例を見ない凶悪な事件が発生している。速やかに警察署へ通報できるシステムを導入するべきと思うが、現状と課題について伺う。

A 保育施設については、不審者対応の前例がない。国より児童福祉マニュアルに沿って対策している。具体的には、出入り口の鍵閉鎖や施設内の見回り点検、外遊び時の携帯電話の持参、全ての職員が「やまがた110ネットワーク」への登録をしている。また、訓練を年複数回実施している。児童の安全を最優先と考えている。課題としては、職員のほとんどが、女性である。不審者が男性の場合、力の差や常軌を逸した雰囲気などに圧倒されてしまい、普段ど

おりの対応が出来るかが不安だと聞いている。介護施設については、施設運営が民間企業である。防犯カメラは、民間の警備会社で行っている。県より防犯対策のマニュアルで対応している。

教育施設については、通報システムは導入していない。1月から6月までに声がけなどが2件発生。県内で一番

安全な地域である。防犯対策の3つの柱

- ① やまがた110ネットワークの活用
- ② 地域の力を借りて登下校の安全確保
- ③ 不審者対応訓練と役割をしっかりとできるように工夫すること。

その他の質問
・スポーツ振興について
・ドクターヘリについて



認定子ども園での訓練

Q 市民一人一人の問

題が複雑化・多様化している。さらなる市民サービスに対応していくためには職員の育成、確保、適正配置、行政のスリム化が必要と考えるが現状と課題を伺う。

A 制度が複雑になってきているため、やるべき業務が増えている。効率化を図るためのデジタル化も検討していく。

Q ふるさと納税の寄付額が増えた事により、事務量も膨大になっている。事務や市役所の窓口業務などを民間へ業務委託できないか。

A 保育園、給食などは民間委託を進めている。今後もし必要があれば検討していく。
Q 住民票の写し、印鑑証明書などは、



吉田 創

デジタル課を 新設してはどうか

答弁 検討していきたい

動画はこちら



マイナンバーカードがあれば、オンライン申請やコンビニ交付できる自治体が増えている。マイナンバーカードを普及させる市の取り組みを伺う。

A マイナンバーカードの普及を進める必要がある。
Q コロナ禍により、人との接触をなるべく少なくしようと、

非接触決済のニーズが高まった。市役所窓口では依然として現金のみの取り扱いとなっている。キャッシュ決済についてどう考えているか伺う。

A 令和4年度庁舎内窓口一ヶ所に導入予定。
その他の質問
・公共施設について



マイナンバーカード申請受付中



阿部 正任

市内の永住外国人に 地方参政権を認めては

答弁 日本国民でなければ

認められない

動画はこちら



Q 市内には、130名余りの永住外国人が市民として生活している。主に海外から婚姻により嫁いできた女性である。子どもを産み育て、家業や企業などで働き、地域を担っている。自分や家族、地域の生活をもっとよ

くしたいと考えているこれらの人たちにも行政参加できる地方参政権が与えられるべきではないか。

A 憲法では永住外国人に地方参政権を付与する事を禁止してはいないが、最高裁の判例では、認められていない。市としても認めるのは厳しい。

参政権を望むなら、日本国籍、帰化という方法をとってほしい。

Q 技能実習生として市内に住んでいる外国人もいる。技能実

習生の人数、生活状況はどうか。

A 市内製造業7社に47名が技術習得のため働いているが、コロナ禍により帰国できていない。地域との交流が持てないなど不安を抱えながらも暮らしている。



学習指導する外国籍の女性

Q 市としても、国外から訪れ、市民として暮らす若い彼らに、何らかの支援を行い、村山の良さを知ってもらうべきではないか。

A 理解できるが、今は考えていない。

その他の質問
・市庁舎周辺の環境整備について



田中 正信

高齢者に優しい まちづくりを

答弁 重要課題であり、

前向きに取り組む

動画はこちら



Q 深刻な少子高齢化社会にあつて、高齢者を、市と地域が一体となり支援することが極めて重要と考

える。
A 高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるには、市と地域が一体となった協力体制が欠かせない。

市はこれまで地域住民の自主的な支援・協力体制を構築するためさまざまな事業に取り組んできた。

それらを精査するとともに、今後一層発展するよう取り組んでいく。

Q 元気な高齢者を介護助手に雇用してはどうか。

A 県は、介護助手育成の研修を行って、それを活用し、介護職への参加につながるよう、市も広報し

ていきたい。

Q 「介護支援ボランティア」を進めてはどうか。

A 県内においても実施団体が数ヶ所ある。今後の効果を見極めていきたい。

Q 民生委員児童委員の活動を補助する

A 「福祉推進員」制度を導入してはどうか。
A 有効と考えるので研究したい。
Q 「ウォーキングの里むらやま」の宣言をしてはどうか。
A 歩くことは健康づくりの基本であり研究したい。



いきいきサロンの模様



中里 芳之

パートナースhip制度導入を

答弁 どれくらいいるか

わからない

動画はこちら



Q ① 選択的夫婦別姓
② 同性婚をどう思うか。

A ① 議論が足りない。
② 公的に認知するには時間がかかる。

Q 病院での家族としての面会・付き添い、手術の同意判断、生命保険の受け取りなどができるように、同性カップルを認証するパートナースhip制度導入を。

A 本市でどれくらいいるかわからない。情勢を見守る。

Q 児童・生徒女別である必要はない。混合名簿にするべきではないか。

A 9校中5校が混合名簿。ジェンダー教育の観点から名簿

のあり方を検討する。

Q ジェンダー平等社会に合うように、制服や校則を子どもたちと一緒に考え、変えていくべきではないか。

A おっしゃる通り。

Q 気候危機問題が深刻だ。※1オンサイトPPAなど、雇用を生み出し地域経済にも影響を与えるような一層の取り組みを。

A 調査し検討したい。原油高騰対策として
① 事業者や福祉施設などへの燃料費・暖房費助成
② 福祉暖房費助成支給額引き上げや生活保護世帯などへの対象拡大を。
少し様子を見る。

順位	国名	値	前年値	前年からの順位変動
1	アイスランド	0.892	0.877	-
2	フィンランド	0.861	0.832	1
3	ノルウェー	0.849	0.842	-1
4	ニュージーランド	0.840	0.799	2
5	スウェーデン	0.823	0.820	-1
11	ドイツ	0.796	0.787	-1
16	フランス	0.784	0.781	-1
23	英国	0.775	0.767	-2
24	カナダ	0.772	0.772	-5
30	米国	0.763	0.724	23
63	イタリア	0.721	0.707	13
79	タイ	0.710	0.708	-4
81	ロシア	0.708	0.706	-
87	ベトナム	0.701	0.700	-
101	インドネシア	0.688	0.700	-16
102	韓国	0.687	0.672	6
107	中国	0.682	0.676	-1
119	アンゴラ	0.657	0.660	-1
120	日本	0.656	0.652	1
121	シエラレオネ	0.655	0.668	-10

ジェンダーギャップ※2 指数 (2021)
上位国及び主な国の順位 (内閣府資料)

※1 オンサイトPPA：敷地内の遊休地・屋根を借用し、太陽光発電設備を構築し、そこで発電したCO2ゼロの電力を自家消費すること
※2 ジェンダーギャップ：各国の男女格差を数値化したもの



大山 正弘

村山市都市計画はあるのか

答弁 都市計画改正により

平成20年3月に策定

動画はこちら



Q 村山市の未来を描く都市計画策定施設計画整備状況は。

A 道路進捗として、計7路線で整備率は62・7%、公園については、東沢、灰塚、駅西など計7個の公園を拡張や整備を行い、土地区画整備事業として、新町、中央、駅西、地区において実施。施工面積は37・2haとなり、今も道路事業として楯岡東根温泉線、村山駅東沢線を進める。

Q スマイルタウンの現状と分譲計画は。

A 土地開発公社で実施したスマイルタウン3か所完売、第2期17区画についても、12月2日付けで12区画申込みで順調に推移している。今後の分譲計画は、今のところ具体的にはないが、継続して実施していきたい。

Q スマイルタウンの販売計画を伺う。

A 保有している23区画は、都市計画道路楯岡東根温泉整備事業に関する移転先として確保し、販売申込み受付を行っている。

Q 宅地開発に伴う農業と農地の両立は。

A 必要な土地需要にも適切に対応することを目的に、農地の立地条件などにより農地を区分し、周辺農地における農業上の利用に支障がない所へ農地転用を誘導している。



順調に進むスマイルタウン

一般質問

※一般質問のQ&Aは議員の原稿をそのまま掲載しています。

新型コロナウイルス
感染症対策支援本部

12月15日第8回新型コロナウイルス対策支援本部会議が開かれました。変異株の出現や長引くコロナ禍による地域経済への影響など、各議員が市内の現状、今後の支援策について報告し、令和4年度の当初予算編成に向けた要望をまとめ、12月27日に市長へ要望書を提出いたしました。



市長へ要望書を提出

●概要

- ① 経済対策について
- ② 3回目のワクチン接種について
- ③ コロナ禍における対応について
- ④ 情報提供について

総務文教常任委員会
管内視察

●10月13日
スポーツ施設

本年度より村山市のスポーツ施設の指定管理者がこれまでの一般財団法人村山市スポーツ協会からワークエージェント株式会社（矢萩政己社長）に変更になりました。施設の運営状況について視察しました。

市民体育館長より、目指すべき運営や問題点について説明を受け、意見交換を行いました。その後、金谷運動広場など市内スポーツ施設を見学しました。武道館の耐震化がされてお



老朽化の進む武道館

らず老朽化による維持管理費の増加などの課題があります。

運営においては、コロナ禍で自主事業の実施が困難な状況ですが、民間のノウハウを活かし、市民のスポーツ振興が一層図られるよう今後に期待いたします。

●12月9日
Link

MURAYAMA

工事の進捗状況は50%ほどの説明を受けました。剥き出しの配電線、ほこりの舞うコンクリート床で作業員が働く中、にぎわいの拠点に生まれ変わろうとする姿の概要が見えてきました。



改装工事中の
Link MURAYAMA 内部

駅西開発エリア
道路網の整備エリア
や土地利用計画につ

て説明を受けました。道路整備に力を入れ、企業誘致に弾みがついてほしいとのことでした。

●11月16日
管内視察
産業厚生常任委員会

河西地区
国道347号沿いに工業地帯、宅地造成や商業施設誘致を図り、河西地区活性化のための仕事や生活、買い物や子育て拠点づくりを進めていきました。

●11月16日
管内視察
産業厚生常任委員会

駅西開発エリア
東北中央自動車道村山IC（仮称）が令和4年度中の完成を予定していることから駅西の道路を整備しています。

駅西中央1号線、駅西中央4号線は令和3年度中に完成予定。駅西中央2号線はマクドナルドオープンとあわせて開通しました。また、駅西中央5号線の新設、橋岡長瀬線の拡張事業が予定されており、今後駅西が発展することを大いに期待します。

●定住促進橋岡北町団地

団地内の空室一戸が子育て世帯や若者の定住を促進するために改修されました。和室主体の間取りから、床はフローリング、押し入れはクローゼットになり、ユニットバスや追い炊き機能も新設されました。



橋岡北町団地の改修された一室



駅西開発エリア基本構想図（全体）

議会活動

10月

- 1日 一般質問
- 5日 決算特別委員会・予算特別委員会
- 6日 常任委員会・決算分科会
最上川上流村山地区改修期成同盟会総会・要望会
- 7日 常任委員会・決算分科会（～8日）
- 11日 会派代表者会議
- 12日 常任委員長会・決算分科会委員長会
議会運営委員会
- 13日 総務文教常任委員会・管内視察
- 14日 全員協議会
決算特別委員会・予算特別委員会
本会議
- 15日 議会だより編集委員会（20日・26日・29日）
- 17日 市長杯ゲートボール大会
- 20日 水道祭・下水道祭
- 25日 全員協議会・会派代表者会議
- 26日 議会運営委員会
そば感謝祭
- 27日 北村山広域行政事務組合議会運営委員会
- 29日 市老人クラブ連合会体育レクリエーション大会

11月

- 1日 全員協議会・会派代表者会議
本会議
- 2日 代表世話人会・全員協議会
本会議
- 4日 議会だより編集委員会（22日）
共立衛生処理組合議会新議員研修
広域行政事務組合議会新議員研修
県市議会議長会議会報研修会
- 5日 北村山広域行政事務組合議会全員協議会・定例会
- 10日 議会運営委員会
- 11日 県市議会議長会定期総会
- 12日 村山市と株式会社古窯ホールディングスとの
相互協力・連携に関する協定締結式
- 15日 共立衛生処理組合議会運営委員会
- 16日 産業厚生常任委員会協議会・管内視察
- 17日 総務文教常任委員会協議会
- 18日 全員協議会・会派代表者会議
活性化推進議員連盟役員会
議会運営委員会
- 22日 共立衛生処理組合議会全員協議会・定例会
- 29日 全員協議会・予算特別委員会
本会議
活性化推進議員連盟総会

12月

- 1日 代表質問
- 2日 一般質問（～3日）
- 3日 新型コロナウイルス感染症対策支援本部役員会議
改革クラブ視察
- 8日 予算特別委員会
やまがた美しい森林づくり推進大会
- 9日 常任委員会
総務文教常任委員会・管内視察
- 11日 東北中央自動車道（村山本飯田～大石田村山）開通式
- 13日 森林・林業・林産業活性化促進議員連盟定期総会・研修会
- 14日 北村山広域行政事務組合議会運営委員会
常任委員長会・会派代表者会議
議会運営委員会
- 15日 新型コロナウイルス感染症対策支援本部支援会議
全員協議会・予算特別委員会
本会議
- 16日 タブレット導入検討部会
- 17日 公立病院組合議会議案内示・議会運営委員会
村山市商工会交流事業講演会・交流会
- 20日 東北中央自動車道建設促進協議会要望（～21日）
市政・公明クラブ要望活動
- 21日 北村山広域行政事務組合議会全員協議会・臨時会
- 22日 議会だより編集委員会（27日）
- 23日 東北中央自動車道建設促進協議会要望会
公立病院組合議会全員協議会・定例会
- 27日 市長への要望書提出（新型コロナ関連）
東北中央自動車道建設促進協議会要望会

議会だより研修会

11月6日

南陽市文化会館「シエルター」にて、東北芸術工科大学グラフィックデザイン学科准教授、赤沼昭男氏を講師に「デザイン」の役割」と題した講義を受講しました。「伝わる議会報」発行のために必要なデザインの有効活用について講話を頂きました。また、講師より議会報は「市民へのラブレター」とのメッセージが



紙面デザインの講義

ありました。今後も市民の皆様がより見やすく、解りやすい議会だよりの発行に努めていきたいと思っております。

市政・公明クラブ 要望活動

12月20、21日

地元選出衆議院議員3名と国土交通省道路局長に「コロナ禍における地方交付税の確保と寒冷補正の強化について」「新道の駅むらやま整備について」を要望しました。地方交付税の確保については、生活交通の確保や除排雪の経費および道路舗装のメンテナンスが大きな負担になることを申し上げて



遠藤衆議院議員へ要望書提出

まいりました。令和3年12月11日に「村山本飯田IC」大石田村山IC」間が予定より1年前倒しで開通となりました。さらに、残る「東根北IC」村山本飯田IC」

北村山広域行政事務組合の視聴覚教育センターを訪れ、実施されている事業内容について説明を受けました。今年度は11月30日時点でプログラミング教室や情報モラル教室、プラネタリウムなど165回、3764名が

改革クラブ 管内視察 12月6日



局長より説明を受ける

間についても令和4年度中開通が予定されており、一日も早く開通するようにお願いをしております。北村山に視聴覚教育センターがあることのメリットを最大限に活かしていく必要があると感じました。

市民の声



奥山 幸一 さん
(戸 沢)

～地場産大豆飲料～

日々の珈琲豆の焙煎作業で頭痛と肩こりを抱えながら、少しばかりの自家用野菜も作っています。

自家焙煎「豆まる」は好きで始めた仕事でお客様の『うまい！』が聞きたくて、モチベーションを上げて頑張っています。

当店メニューに「大豆のしずく」というものがあります。市内の農家さんは転作作物の1つとして大豆栽培に取り組みされており、その貴重な大豆を丸ごと味わう方法はないかと試行錯誤の結果生み出したものです。県の奨励品種である「里のほほえみ」や「シュウリュウ」をJAさんから譲っていただき、珈琲豆でいえば中煎り程度の段階で火を止め、粉にしてフィルターで抽出したものです。無論添加物はなしです。お客様からは『大豆の風味が生きていて甘くて美味しい』『ヘルシーで体に良さそうだ』と、やみつきになる方もおられます。

微力に過ぎませんが大豆のしずくが村山市産大豆の魅力UP↑になればと思います。



焙煎した大豆と粉



大豆のしずく一杯



当店のコーヒーセットメニュー (例)

〈表紙写真〉

12月12日大倉地域市民センターにて大倉地域子供育成会のクリスマス会がありました。コロナ禍という事もありビンゴ大会のみの開催でしたが、子どもたちの笑顔、歓声が響きわたり会場内はとても明るい雰囲気になっていました。

〈大倉地域児童数〉

1～3年：21名 4～6年：20名



ビンゴになったよ!!



みんなの知識

地域おこし協力隊について

地域おこし協力隊は、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に移住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。

あとがき

改選に伴い、議会だより編集委員会も新体制となりました。市民の皆様がより市政を身近に感じる事が出来るよう努めていきますので今後ともよろしくお願致します。
(柴崎)



委員長
副委員長
委員

石澤 祐一
菊池 貞好
田中 正信
阿部 正任
高橋 卯任
吉田 卯創
柴崎 亮太